

“できる”を大切に。
“やりたい気持ち”を大切に。

就労支援センター「ハーモニー」は、平成22年に就労継続支援B型事業所として開設されました。現在27名が利用しており、主にしいたけやキクラゲの栽培・加工を行っています。また、施設内のキッチンでは弁当の製造にも取り組んでいます。栽培を開始した当初は、栽培技術等のノウハウがなく、収量が安定しませんでした。栽培環境に適した菌種を見つげるために繰り返し品種変更したり、利用者一人ひとりに適した作業を提案して作業工程を工夫したりすることで、徐々に安定した生産が可能になりました。なお、菌床については、同じ法人の障害者就労支援センター「みらい」で製造されたものを使用しているそうです。

課題だった販路の拡大も、少しずつ取引先を開拓した結果、鹿児島市内の大型スーパー等でも取り扱っていただけるようになり、現在では、しいたけは年間2万菌床、キクラゲは1、200菌床を栽培するまでになりました。しいたけやキクラゲを栽培するメリットは、作業を細分化できること

就労支援センターハーモニー（社会福祉法人 敬和会）



収穫作業の様子。2人ペアで行います。



お弁当製造の様子。注文販売も受け付けています。



幅広い年齢層の方が利用されています。



栽培・加工したいたけやキクラゲは、鹿児島市内のタイヨーやおいどん市場で、弁当はAコープ谷山店で購入できます。

最後に、霜出さんは「ハーモニーの特徴は、利用者が明るく作業できることです。今後、利用者のやりがいを大切にし、楽しいと感じてもらえる環境づくりを心がけたいです。工賃もこれまで以上に支給できるよう、しっかりとサポートしていきたいですね。」と展望を話してくださいました。

また、ハーモニーは、利用したいと思う障害者なら支援区分に関係なく利用できるの、様々な特性を持つ方が集まります。そのため霜出さんは対話を大切にしているそうです。「どんな職場でも、褒められたり愚痴をこぼせたりする環境は必要です。障害があるから“できない”や、“分からない”のではなく、できたことはきちんとほめ、悩みがあれば話を聞く。それが大切だと思っています。」と思いを聞かせてくれました。

とだそうです。職業指導員の霜出大輔さんは、「からの栽培は、菌床の管理から出荷まで行う必要があり、作業の内容を細かく分けることができます。そのため、利用者の“得意なこと”や“やりたいという気持ち”を活かした作業を提供することが可能です。」とお話くださいました。指導をする上で、理解しづらい作業は、言葉ではなく目で見て分かるように示すなど、利用者に寄り添った対応を心がけているそうです。霜出さんは「利用者は『自分で育てた』という愛着を持っていて、出荷して終わりではなく、売れ行きやお客様の声にも関心を持っています。購入者からの評判の声が利用者のやる気につながっているんです。」と、嬉しそうに話していました。

就労支援センターハーモニー
（社会福祉法人 敬和会）

〒891-0150 鹿児島市坂之上8丁目7195-1
TEL：099-297-6311
FAX：099-297-6312

